

# Saitama



# Ladies

keieisha Club





## サイタマ・レディース経営者クラブ 会長 栗田美和子

令和5年度は新型コロナ対応が4年になり、5月8日から感染症法上の位置づけが2類から5類の季節性インフルエンザと同等の扱いに変更になります。しかし、コロナの影響からの世界の生産力の低下とロシアのウクライナ侵略からのエネルギー高騰、そして円安の影響で生活用品を中心に多くの値上げが続いています。その中、従業員を守るべく、4月から各社が従業員の賃上げ3%~5%実施されましたが中小企業として物価上昇分を全てとはいかないのが実態です。また、今年度は2024年問題に向き合わなければならず、どんな業種も物流に関して影響が出てくると思われます。

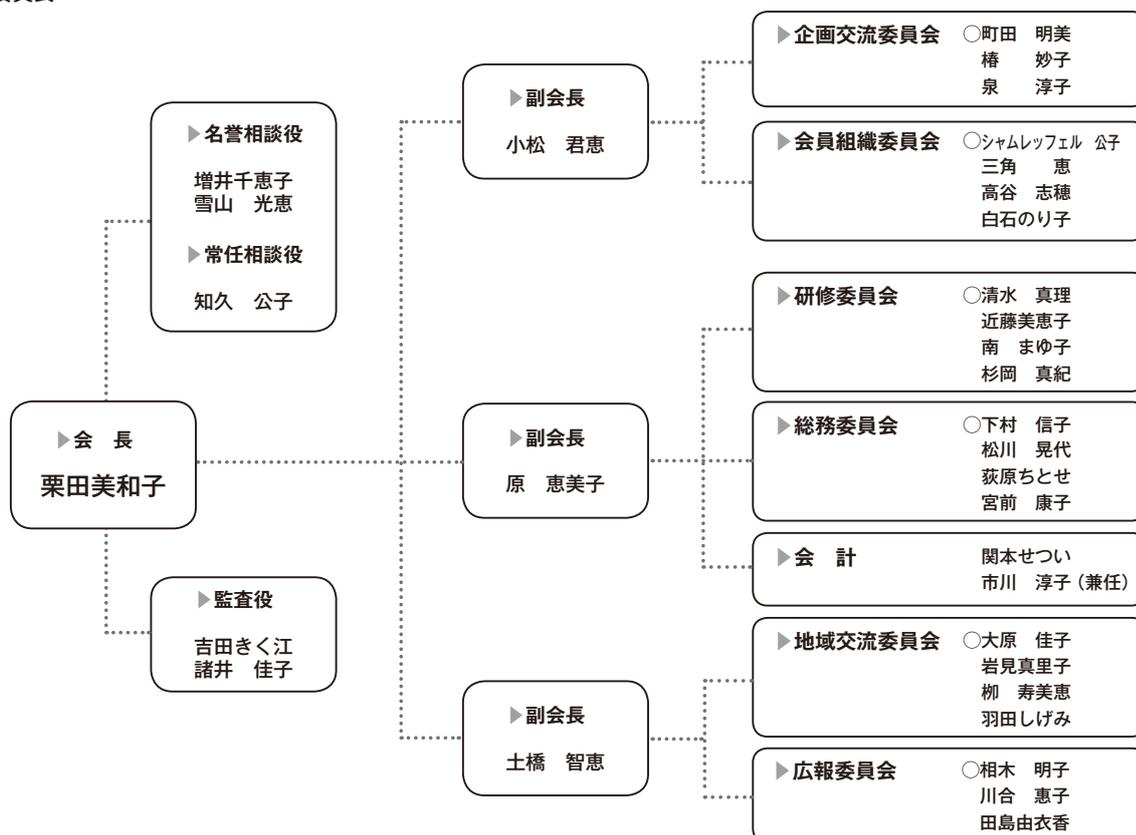
さて、今回の総会には当会が現組織に成長するために大きな支援をいただいた現昭和女子大学総長で1995年4月から1998年5月まで埼玉県副県知事であった坂東眞理子氏に登壇いただきます。1987年

レディース・トップ・スクールとして産声を上げ当会になったのは1990年、その5年後から3年間の坂東氏との出会いは大きなものでした。私は、初代会長山口政子氏が経営していたレストランで坂東氏講演や埼玉県の女性管理職の方々との交流研修会の企画をいただき、女性としてどう生きるかを学ばせていただいたように思います。「ガラスの天井を打ち破れ」は1978年に米国で出来たとされる言葉ですが、私は坂東氏から伺い衝撃的な言葉でした。このガラスの天井は、外部要因と自分自身の内部要因があります。

当会は、常にこの外部と内部のガラスの天井を打ち破り、今までの非常識と思う中に、これからの事業のオンリーワンを見出し、仲間と共に日本でオンリーワンのサイタマ・レディース経営者クラブとして、埼玉にあって良かった会に成長していきます。

## 令和5年度役員組織図

○：委員長



# 35周年記念新春講演会・記念式典・懇談会

**演題** メーカーベンダーによる地域からの市場創造

**講師** アイリスオーヤマ株式会社 代表取締役会長 大山健太郎氏



今回の講演会は、ダイヤル・サービス株式会社代表取締役社長、今野由梨氏にご尽力賜り、日本を代表する企業、アイリスオーヤマ株式会社代表取締役会長、大山健太郎氏の講演会が実現しました。「メーカーベンダーによる地域からの市場創造」というテーマでお話いただき、サイタマ・レディース経営者クラブ創立35周年記念にふさわしい講演会となりました。

大山氏は、19歳で家業を継承、東大阪で年商500万円、従業員5名、プラスチック形成の下請けとして企業をスタートしました。19歳という若さを強みとして昼夜問わず働き、22歳で養殖に使うプラスチックの「浮き」を開発、真珠養殖のブームに乗り、売り上げを伸ばしていき、メーカーとしての立ち位置を確立します。26歳で農業器具をきっかけに東北、宮城県に進出しますが、その後バブルが弾け農業器具の供給過剰に陥り、厳しい環境で倒産寸前まで事業が落ち込みました。倒産の危機に陥りながらも、新たなビジネスチャンスを探し自宅での園芸をヒントに「育てる園芸」をキーワードとして、さまざまな商品を開発します。自らホームセンターに商品を届ける、メーカー直販を開始し、メーカーベンダーという形態を確立しました。

特に印象的だったのは、「世の中がどのように変わっていくかわからない時代、常に先を見た設備投資をする。経



常利益の50%を設備投資に回す」という発想です。

東日本大震災の計画停電時のLED照明需要、

<記念新春講演会>

日時 令和4年2月7日(火) 15:00～16:45

場所 THE MARK GRAND HOTEL、Zoom

<記念式典・懇談会>

日時 令和4年2月7日(火) 17:30～19:30

場所 THE MARK GRAND HOTEL

今回レディース会員の皆さんもお世話になったでしょう、新型コロナウイルスの際のマスク需



要、このような未曾有の事態を誰が予想したでしょうか。需要を見通しているのではなく、みなさんが必要となった時にスタートのボタンが押せるように常に間口を広げての経営、先行した設備投資が功を奏しました。

また、「生活の中でおかしいことはいっぱいある、だが業界常識という中でおかしいと思わない、それを生活者の代弁者として新たにチャレンジしていく。お客様が何を一番求めているのかを考えることが、一番のビジネスチャンスにつながるのではないか。」ということです。業種・業界・業態、今現在の常識や当たり前にとらわれないこと、新たな一步を踏み出すのは容易なことではありませんが、経営者の大先輩が実践していることです。

勇気をもって進み、新たな発想で会社を引っ張る、経営者として学びの多い充実した講演会でした。

講演会終了後は、全員での記念撮影の後、懇談会となりました。大野知事の挨拶に始まり、坂井埼玉大学学長の乾杯の挨拶後、和やかに会は進みました。円卓はパーティションで仕切られ、コロナ対策も万全でした。マスクや、パーティションが不要となる日常が待ち遠しいですね。



ムサシノ機設株式会社 渡部通子

# 「温故知新」～先人から学ぼう！そして次の世代に繋げよう～

## テーマ 「先輩から学ぼう」

講師 有限会社アイワメディカルサービス 代表取締役 藤田博子氏  
有限会社ますいいリビングカンパニー 取締役会長 増井千恵子氏

## 「先輩から学ぼう」研修を終えて

研修委員会では、今年度のテーマである「温故知新～先人から学ぼう！そして次の世代に繋げよう～」の第一弾として、「先輩から学ぼう」を開催しました。本研修では、本会員の先輩方をお招きし、コロナも含めた様々な困難や壁をどのように乗り越えられてきたか、次の世代に継ぐ経営を考えるヒントを伺いました。



今回は、有限会社アイワメディカルサービス代表取締役藤田博子会員と、有限会社ますいいリビングカンパニー会長増井千恵子会員をお招きし、創業当時から現在までのご苦労された話や、人材採用・育成、事業

承継等、幅広いテーマに対して幅広くお話を伺いました。

藤田会員より、医療系にとどまらない資格取得や、3つのファースト(顧客ファースト・スタッフファースト・ファミリーファースト)、起業拡大



日時 令和4年4月12日(火) 15:00～17:00  
場所 新都心ビジネス交流プラザ4F会議室、Zoom  
主催 サイタマ・レディース経営者クラブ  
担当 研修委員会



のきっかけなど、企業経営のヒントとなるお話を数多く伺いました。

増井会員からは、厚みのある事業計画書を直々にお持ちいただき、事業計画書の見える化や、やる気を出す給与体系、5方よしの経営理念など、参考となる興味深いお話を伺いました。

第3部では、ゲスト会員と参加会員との質問・ディスカッションの時間を設け、たくさんのご質問やご意見をお寄せいただきました。会場・Zoomと総勢36名の方にご参加いただき、盛会となりました。

最後に、今回ご協力いただきました、藤田会員、増井会員には、お忙しい中、資料等へのご準備やご講演に深謝いたします。ありがとうございました。

近藤美恵子経営コンサルティング事務所 近藤美恵子



# 埼玉県女性経営者支援セミナー

**演題** 従業員の力を引き出したいと取り組む<仕組みづくり>  
～株式会社デリモの実践例～

**講師** 当クラブ会長 栗田美和子氏

行って・見て・納得!! サイタマ・レディース経営者クラブ 企業訪問  
株式会社デリモ様 新社屋見学会&栗田社長セミナー

以前にも栗田会長の会社（旧：クリタエイムデリカ様）の見学会は実施したことがありましたが、その時の学びの多さから会員より強い希望があり、2022年2月に社名変更と新社屋でさらにパワーアップしたデリモ様の会社見学会が実現しました。

## ◆工場見学

参加者は全身つなぎに着替え、帽子を被り、長靴を履き、マスクをし、衛生面への気遣いを体感しながら、社員の方の丁寧な案内の下見学させていただきました。大きな製麺機や鍋などでの迫力のある調理や、製造ラインで従業員の皆様が鮮やかな手つきで商品に仕上げていく様などを拝見し、一同大興奮でした。

中でも、新工場になって取り入れたという生ゴミ処理機は、中にゴミを入れると数時間で分解され、水しか排出しないという地球に優しい機械でとても驚きました。臭いも少なく、従業員の方にとっても働きやすいのではないのでしょうか。初期費用はかかったそうですが、素晴らしい投資だと感じました。

デリモ様は「中小企業だからこそ手間暇で勝負」とおっしゃるとおり、ひと鍋ひと鍋丁寧に調理をしているため、大量生産をしている工場に比べると掃除などの手間はあっても、クライアントの目指す味を実現し差別化しているそうです。本来時間が経つと美味しくなくなってしまう調理麺をいかに出来立ての味のまま食卓に届けるか、日々の企業努力を間近で見られて、



**日時** 令和4年5月10日（火） 15:00～  
**場所** 株式会社デリモ 新社屋  
**主催** サイタマ・レディース経営者クラブ、埼玉県  
**担当** 企画交流委員会



そのひたむきさに心を打たれました。

## ◆栗田社長 ご講演

セミナーには栗田社長自らご登壇いただきました。まず「経営者がブレてはいけない。理念経営が大事だ」というお話をさせていただきました。経営方針書を作成すると、従業員は見ないかもしれないが、自分の頭の中が整理され、進むべき道が見えてくるとのことでした。

デリモ様は社内委員会制度を取り入れており、会社の見える化をすることで、従業員に会社を自分事にとらえ、誇りを持てる会社を目指しているそうです。

「売れる商品は誰かの「負」を解消している。我々にとってはその日の製造の10万分の1の商品かもしれないが、お客様にとっては1分の1だということを常に考え、感動分岐点を超える商品づくりを目指している」という言葉も大変印象深かったです。そのためにもPDSサイクルを100回繰り返す、何か失敗しても「まだ100回やってないだろ」と自問している、というストイックな栗田会長の向上心に、多くのことを学ばせていただいた1日となりました。

アトリエつむぎ 田島由衣香

# 定期総会・講演会・懇談会

日時 令和4年6月3日(金) 16:00～16:50  
場所 With You さいたま4階 視聴覚セミナー室  
担当 総務委員会

## 定期総会

総会は、コロナ禍ですが、比較的感染状況が落ち着いているなか、久しぶりのオンラインとのハイブリット開催ではなく、リアルのみの開催となりました。みなさん、直接お会い



することが久しぶりなようで、総会の前後に嬉しそうにお話していた様子が印象的でした。会は、栗田議長の進行の下、事業報告・決算報告、事業計画・収支予算、会則の一部改正、慶弔規定改廃、役員補充など多くの議案がありましたが、全議案に関して承認・可決され、スムーズに議事進行が行われました。 関東図書株式会社 相木明子

象的でした。会は、栗田議長の進行の下、事業報告・決算報告、事業計画・収支予算、会則の一部改正、慶弔規定改廃、役員補充など多くの議案がありましたが、全議案に関して承認・可決され、スムーズに議事進行が行われました。 関東図書株式会社 相木明子



## 講演会

### 演題 埼玉県産業労働施策のポイント

講師 埼玉県産業労働部長 坂東博之氏

日時 令和4年6月3日(金) 17:00～17:40  
場所 With You さいたま4F 視聴覚セミナー室  
担当 研修委員会

今の一番の課題としては、このコロナ禍でいかに経済を活性化させるかだとおっしゃっていたのが印象に残っています。当日いただいた資料は、とても充実していて、産業労働部の施策をほぼ網羅されている資料となっていました。

・時代の変化に合わせ、DXを推進する支援を実施。DXとは、ただ単に社内をデジタル化するのではなく、企業が直面している経営課題を、IT技術を使って解決できないかを考えるのがDX

・業務継続計画策定支援（BCP）も、当初風水害等への対策だったものが、コロナ禍、どのように通常の業務を維持させていくかという視点へ変化

・事業承継支援では、現経営者の高齢化を始めとし、課題が多岐にわたるので、相談体制連携を強化

・引継ぎ支援センターは1カ所で、3,000件近い相談があったので、熊谷にサテライトを設置

・雇用対策としては、特に非正規雇用の方を新たに成長する分野に移動させる方向性に

・中長期の課題として、価格転嫁の円滑化、雇用の流動性確保、中小企業の業態転換への対応を支援

DX化は、企業の意識や進捗状況、課題もそれぞれ全く状況が違います。支援機関を全部入れたDX推進支援ネットワークがつくられて、そのなかでもキーとなるポイントは、金融機関が、その企業に合ったサポートを他の団体と一緒に実施していくことだそうです。また、DXを進める際に、いかにその人材を確保することが大きな課題となっていきます。

DX化は、企業の意識や進捗状況、課題もそれぞれ全く状況が違います。支援機関を全部入れたDX推進支援ネットワークがつくられて、そのなかでもキーとなるポイントは、金融機関が、その企業に合ったサポートを他の団体と一緒に実施していくことだそうです。また、DXを進める際に、いかにその人材を確保することが大きな課題となっていきます。

今回ご紹介いただいたさまざまな支援・制度を今後の会社の活動にぜひ活用していきたいと感じました。

セレモニーサロン株式会社 清水真理

## 懇談会

日時 令和4年6月3日(金) 18:00～19:30  
場所 ホテルブリランテ武蔵野2階 エメラルドAB



# 経営力アップ 埼玉ウーマンズカフェ

テーマ 持続可能な健全経営 ～長く地域に必要とされる会社へ～

## ■講演 「企業として生き残っていくためのビジネスモデルの検討」

講師 丸越運輸倉庫株式会社 代表取締役 上野広美氏

## ■講演 「持続可能な農業のために」

講師 山口農園 代表 山口由美氏

## ■パネルディスカッション

パネリスト 丸越運輸倉庫株式会社 代表取締役 上野広美氏

山口農園 代表 山口由美氏

ファシリテーター 埼玉県よろず支援拠点(埼玉県産業振興公社)コーディネーター 近藤美恵子氏

## ■グループディスカッションおよび質疑応答

今回の埼玉ウーマンズカフェは、武蔵野銀行新本社2階の素敵なスペースで、ハイブリットにて開催されました。



上野氏、山口氏のお話は、実践に基づいた持続可能な経営は何をしたら良いか？人材採用、育成は？など、具体的な内容でした。以下に紹介いたします。

### ▼上野氏の講演より

OLだった上野氏が父の会社を承継することになり、何を言っても聞き入れてくれない社員、財務の弱さ等々、空まわりの日々でした。そんな時に「異業種から入った自分だから出てきたアイデアを形にしたい」と埼玉県の経営革新にチャレンジして、以後5回の経営革新計画の承認を受けました。その中の一つ(ビジネスモデル企業になった)運送会社が提供する美味しいお米を始めました。今まで見ることが出来なかったお客様の喜びの声を社員も実感できて、社員のやる気やモチベーションにもつながりました。常に地域、社員の未来を考えて行動する上野氏のお話には経営のヒントが満載でした。



### ▼山口氏の講演より

嫁いだ先の義父の手伝いから農業生産者になり「どうせ農業をやるなら楽しく、私らしく」と女性の発想力、ネットワーク力、消費者、生活者目線を活かして、お客様の顔が見えるワークショップや大手スーパーや百貨店等への出店、メディア出演等をフットワーク軽く行っています。また新たな発想から新商品開発(万能梅みそなど)

日時 令和4年7月19日(火) 15:00～17:00

場所 M,s SQUARE

(武蔵野銀行新本店2階 地域創生スペース)

主催 サイタマ・レディース経営者クラブ、武蔵野銀行  
後援 埼玉県、埼玉中小企業家同友会(女性経営者クラブ・ファム)、(公財)埼玉県産業振興公社(創業・ベンチャー支援センター埼玉)、さいたま商工会議所(女性起業家ネットワーク CCS)

担当 地域交流委員会

や高校、大学と連携し、学生と一緒に梅について考える等も行っています。地場産品である梅を地域の人を巻き込み、梅の可能性を広げる山口氏の思いが伝わるお話でした。「違った視点で、明日やろうはやめよう、今やろう」と生き生きと話された山口氏の言葉が印象的でした。



パネルディスカッションでは「持続可能な経営とは?」「SDGsってなんだと思う?」「異業種からの苦労は?」「会社を継ぐ立場、継がせる立場について」など、ディスカッションが行われました。

最後に各グループで、2人の講演をお聞きして、「ブランディングのやり方」、「自分の常識が非常識」、「社員に楽しそうに見せる」、「いろいろな人の力を借りる」など、今回の講演会、交流会からそれぞれが経営のヒントを得ることが出来ました。



ミライフウマン 岩見真里子

# 埼玉県女性経営者支援セミナー

**演題 武蔵一宮氷川神社の歴史を通して地域を知る**

**講師 武蔵一宮氷川神社 権宮司 東角井真臣氏**

「武蔵一宮 氷川神社 歴史を通じて地域を知る」に参加して

令和4年9月20日、武蔵一宮 氷川神社にて「武蔵一宮 氷川神社 歴史を通じて地域を知る」を開催しました。本研修は、武蔵一宮氷川神社の権宮司 ひがし 東角井真臣氏を講師に、氷川神社の歴史から今日に至るまでの歴史をお話し頂きました。

当日は、台風が近づく中にも関わらず40名近くの会員の方にご参加頂きました。

ご講演の前に、氷川神社の祈祷殿にて、サイタマ・レディース経営者クラブの今後の繁栄を祈願頂きました。参拝とは、神様と向き合う貴重な時間とのことです。氷川神社内に入ると、大宮の都会の喧騒から、一瞬で凜とした空気に包まれました。

本来の参拝は、一の鳥居から参拝するのがよろしいとのことです（本殿まで約2キロあるようです）。

参拝後に社務所にて、本講演を賜りました。氷川神社の創建は今から約2500年前にさかのぼる古社です。「氷川神社」は全国約280社を数えるに至り、埼玉県をはじめ、東京都、神奈川県と武蔵の国の水源である荒川、多摩川を治める水の神様が祭られています。

氷川神社の名前の由来は諸説ありますが、氷川神社の「氷」は、水が神様の力が加わった神秘的な形であるとのことです。「熱い」「寒い」は神様の力であり、自然のものに神様が宿るとされています。全国の神社の中でも、神社の格が6番目に高いとのことです。



**日時** 令和4年9月20日（火） 15:00～16:30  
**場所** 大宮氷川神社社務所  
**主催** サイタマ・レディース経営者クラブ、埼玉県  
**担当** 研修委員会



歴史のお話では、我が国の歴史の重要な場面にて氷川神社が大きく絡んでいます。大河ドラマにも関係することもあり、大変興味深く伺いました。また写真などを交えながら、神社のお仕事や全国の神社についてもご案内いただきました。現在では、庶民信仰を中心にしながらも、敷地内の自然を自ら守っているとのことです。

最後に、会員と権宮司との記念写真と名刺交換を行い、研修会を締めくくりました。



近藤美恵子経営コンサルティング事務所 近藤美恵子

# 視察旅行

演題 「いい会社を作しましょう」

講師 伊那食品工業株式会社 取締役会長 井上修氏

日時 令和4年10月18日(火)

場所 伊那食品工業株式会社

担当 企画交流委員会

## 年輪経営の伊那食品工業(株)に学ぶ旅

“たかが寒天・されど寒天” 開口一番の会長の言葉です。

皆さんも寒天と言うと、あんみつの寒天やと

ころてんなどを思い浮かべるのではないのでしょうか？ 現在寒天は食用のみならず、化粧品、医薬品、培地としても活用されているそうです。まさにたかが寒天されど寒天です。

企業の変革が強く求められている昨今、5%の隣接



異業種への進出という話題をよく耳にされると思います。伊那食品工業株式会社の取り組みは、まさにその

成功例だと思えます。主商材の寒天の可能性をとことん追求し、その用途拡大によって新業種へ進出しているからです。

伊那食品工業株式会社の強さは、この経営戦略だけではありません。

本髄はその経営理念にあります。

「いい会社をつくりましょう～たくましくそしてやさしく～」を社是とし、常に先の事をはかりながら、ゆっくり確実に成長すれば、自分たちだけでなく会社をとりまくすべての人々の幸せに繋がるという「年輪経営」の実践にほかなりません。

かつて2005年に空前の寒天ブームが起こったことを覚えているでしょうか？私はちょうどその時期



に塚原現最高顧問のお話を伺った事があります。塚原(当時)社長は「今が当社の最高の危機です」とおっしゃったのを今でも良く覚えています。寒天ブームにより、過去最高の経常益を計上したにも関わらず最高の危機と言ったその理由は、生産が追いつかず社員に過度な労働を強いる。欠品により納品業者に迷惑をかける。この状態が続けば誰も幸せにならないからだとおっしゃいました。そして、会社は富士の裾野のようにゆっくりと緩やかに成長することが望ましいと教えて下さいました。まさに年輪経営です。



さらに帰宅後講演の際に頂いた資料を読み、井上会長の人間力に強く感銘を受けました。「今、一番の関心事」という題の寄稿を是非お読み頂きたい。井上会長の障害に対する向き合い方考え方、自身の病との対峙の仕方。すべてにおいて尊敬に値します。

会社は社長の器以上に大きくならないと言います。私は会社を大きくしたいとは思いませんが、従業員や弊社に関わる人々に幸せになって欲しいと願っています。その為に、自身が成長し少しでも器を大きくしなければと思いました。

株式会社右門 町田明美

## 埼玉女性経営者支援セミナー

# サイタマ・レディース×埼玉大学コラボセミナー

今回、5回目となる埼玉大学とのコラボセミナーは、学生約75名、サイタマ・レディース18名の参加で行われました。昨年、一昨年は、コロナの影響でオンラインでの開催でしたが、今回は3年ぶりのリアルで開催し、お互いに有意義な学びと交流の場となりました。

日時 令和4年11月11日(金) 13:00～16:10  
場所 埼玉大学 基盤教育棟1号館304教室  
担当 地域交流委員会

### ■第一部

#### 演題 ダイバーシティをはじめSDGsの実践事例

講師 株式会社デリモ 代表取締役社長 栗田美和子氏

今回は、株式会社デリモ代表取締役社長であり、サイタマ・レディース経営者クラブ会長の栗田 美和子氏によるダイバーシティをはじめSDGsのこれまでの実践事例等についてお話いただきました。



株式会社デリモは、今年創業74年を迎え、従業員約400名の食品製造の会社です。従業員は、外国人、正社員、技能実習生、特定技能士の受入れ、特定子会社での障がい者雇用等、様々な立場の従業員が働いていらっしやいます。

また繁忙期(特に夏場)は、支援協力工場を設けて、従業員の仕事を平準化されています。誰もが働きやすい環境を整えるためにはどうしたら良いかと常に考え続けて、実践している栗田氏の従業員に対する思いが伝わるお話でした。

SDGsの取組みと共に、更に進化をし続けている株



式会社デリモの取組みのお話を頂きました。株式会社デリモの主力生產品「調理めん」と埼玉県の有

名外食店とコラボして「埼玉の美味しい」を県内、県外に発信しています。

「埼玉県で生産された小麦で埼玉県でめんを作る」地産地消も行っています。地元で生産した素材を使ってデリモで商品を創る→デリモは「地産地創」!

また社員からの提案でつゆを作った後に出る使用済みの出汁(栄養満点)を飼料としてリサイクルを行っています。

デリモのSDGsの取組みは、今始まったのではなく、創業時から地域への貢献(地域清掃など)、障がい者と一緒に働く企業(特定子会社始動、日本障がい者スポーツを全力で応援など)、子ども食堂支援、フードパントリーへ食材寄付等々実践していらっしやいます。

そして現在取り組んでいることは、人財継続雇用をするために「企業内保育園」設立とのこと。「おもいに見える化」して、実現していらっしやる栗田氏のお話から熱いエネルギーと感動を頂きました。



### ■第二部 グループ討論

各グループ10名程度に分かれ、学生と経営者で持続可能な社会に向けて①学生から見た企業が取り組むべき課題、②経営者から見た課題等について、討論しました。私が参加したグループでは、それぞれの立場や経験から「食品ロス」について意見が交わされまし

た。立場の違いによる見方の違いなどお互いに刺激がありました。他のグループも有意義な討論が行われたことと思います。

# サイタマ・レディース経営者クラブセミナー

## 演題 オンライン魅せ方攻略法

講師 パーソナルメディアコンサルタント (PMC) 林ゆりか氏

新型コロナウイルス感染症蔓延後、オンライン会議は私たちのビジネスに欠かせないものとなりました。しかし、カメラに苦手意識がある私にとって、オンライン会議は気が重い時間でもありました。

そんな折、パーソナルメディアコンサルタント、林ゆりか先生の講座を受け、私のオンライン会議に対する印象はガラッと変わりました。講座はオンラインで行われ、画面に登場した林先生は華やかで魅力的で「さすが元アナウンサー」という感じです。でも、講座が終わるころには、私たちの誰もがビフォー・アフターで大変身したのです。

コミュニケーションにおいて視覚情報が55%を占めるという「メラビアンの法則」の通り、見た目や印象はビジネスを行う上でも重要です。そして、林先生によると、オンラインでの魅せ方は、自分である程度補正することができるものだということではありませんか。これはやってみない手はありません。

魅せ方のポイントは、まずは「カメラ映り」です。これはもうどうしようもないものかと思っていましたが、Zoomには外見補正機能があることを教えていただきました。ただし、この機能をMaxにしてしまうと、現実にお会いしたときに、オンラインでの印象とあまりにも違ってしまい「あなた誰？」となってしまうので、半分くらいで止めるのがおすすめです。また、光を当てるだけで顔の印象がパッと明るくなるので、リングライト等の照明があるといいそうです。

次に「音声」。パソコン内蔵のマイクと外付けマイクを比較して聞かせていただくと、外付けマイクのほうが断然声ははっきりしてとても聞き取りやすく感じました。パソコン内蔵マイクは口と距離があるため、ほかの音がノイズとして拾ってしまうためだそうです。

そして、私が一番差を感じたのが、「画角」です。林先生に言わせると「たかが画角、されど画角」。パソコンの位置を移動してカメラの位置を自分の目と一直線になるように上げるだけで、画面に映る自分の顔の角度が変わり、顔の印象がグッと良くなりました。

日時 令和4年11月15日(火)  
場所 オンライン  
主催 サイタマ・レディース経営者クラブ  
担当 広報委員会

また、オンライン用の背景を使うときは、グリーンバックを用いるだけで見栄えが全然違いました。「まず左側を見る」という人間の視覚の習性を利用し、タイトルなどの文字を置くときは自分の右側に置くと、バランス良く見えるそうです。

また、「画面越しのリアクションは3倍増しで行う」「化粧は濃い目でちょうどいいくらい」など、オンラインならではの工夫も教わりました。

もちろん、魅せ方はセルフブランディングの一環なので、まずは自分というブランドを確立することが一番大切です。その上で、どのように自分を魅せていくかを考え、オンラインの魅せ方をちょっと意識することで、見た目の印象が変わります。

「魅せ方を制する者がオンラインを制する」という林先生の教えを、早速、日々のオンライン会議に生かしていきたいと思いました。



# 埼玉女性経営者支援セミナー

## 演題 大学と連携して、会社を元気に！

講師 日本薬科大学 副学長 都築稔氏

今回は、日本薬科大学副学長、薬学科教授の都築 稔氏による「大学と連携して、社会を元気に！」をテーマに最近の学



校の変化、産学官連携の体験を通してのお話、上手な大学との付き合い方について、具体的な事例を交えてご講演いただきました。

### ■最近の学校の変化について

日本薬科大学では、コロナ禍で日本で最初に全学オンライン授業を開始しました。当初は、個人のパソコンを持っていない学生が半数、学内の通信環境の脆弱、情報システムの専門職員がいないなど、「ないない尽くし」での状態でした。また、新しいことをやる時に、必ず反発の声が出てきます。やったことがないことはやりたくない…、改革のチャンスと捉えてICTを進めるべきだ…双方の意見の板ばさみの中「失敗しても良いじゃないか」と3年間言い続けて、2020年4月に全学オンライン授業が開始となったとのことでした。

公立小中学校のGIGAスクール構想の利活用状況や高校でプログラミング教育の必須化、大学入学共通テストの大幅変更等、時代とともに変化している小中高大学の現状をお話いただき、教育現場の大きな変化を実感しました。

### ■産学官連携について

日本薬科大学は、2004年4月に創立。生徒募集のためのオープンキャンパスを増やし、高校訪問など出来ることは、あらゆる手を尽くしたがうまくいかない。なぜうまくいかないのか…と、ジレンマの日々…。そんな時、当時の理事長の一言から、学校の中で自分のやることだけやっていれば良いという独りよがりの呪縛に取りつかれていたことに、気づかされました。2012年11月28日に鎖国から開国しました。(都築氏はこの日を開国と呼んでいます)

開国後、各所と連携し、現在の自治体との連携協定は1区12市8町、企業・団体等との連携は、大宮

日時 令和5年3月15日(水) 15:00～16:30

場所 M's SQUARE 武蔵野銀行新本社2階  
(地域創生スペース)

主催 サイタマ・レディース経営者クラブ、埼玉県

担当 地域交流委員会

アルディージャや埼玉県国際交流協会、その他、高校との協定が多数となっています。さらに海外の大学とも提携して学生の交流や伝統医学の交流もされているとのことでした。

薬学自体は、病気を治すという狭い分野と決めつけるのではなく、他と連携して初めて、薬学の隣接領域に気づくことができたとのことでした。その一つが拡大しているヘルスケア市場とのことでした。「気づかなければ、感じなければ何も始まらない、自治体や関係者の気持ちを理解する、損得は一切考えず縁が出来た他者の悩みを聴く」ということをこれまでのしくじり経験から学んだことと話されました。

### ■上手な大学との付き合い方について

大学との連携、どう使いこなしたら良いかを事例を交えて具体的にお話しいただきました。

一部を紹介いたします。

●共同研究型→秩父の森林資源を活用したキハダプロジェクト「森のサイダー」開発

●課外活動型→戸田市×日本薬科大学×ボートレース戸田×ボートレーサー×ベルクによる「薬膳カレー」

●課外活動型+大学間連携→鴻巣市×日本薬科大学×女子栄養大学の薬食同減のコラボ

最後に、都築氏より「かつての大学とは大きく変わってきています。未来を創る学生たちと一緒に新しいことに挑戦しましょう。最後にもう一つ「失敗しても良いじゃないか！」と熱い想いを込めた言葉を頂き、講演会は終了しました。



me life woman (ミライフウーマン) 岩見真里子

# 埼玉女性経営者支援セミナー

## 知事特別秘書講演会

講師 埼玉県知事特別秘書 渡辺充氏



新年最初は、埼玉県知事特別秘書の渡辺充様より、今までの公務員生活から得た教訓を基に、企業経営の参考となるお話をお聞かせいただきました。

特に印象的だったのが、ハッ場ダム完成のため尽力

なされたご経験のこと。今まで県の職員の方は、県内行政で完結するものと思い込んでいましたが、それに留まらず、日本行政や産業にも寄与していることを知りました。

渡辺様の幅広く深い知識から、著名人の言葉の引用や、健康、SDG'Sなど多岐にわたる話題がユーモアに溢れていて大変興味深く、時間がたつのがとても早く感じられました。渡辺様ご自身が、知的で人間味にあふれ、行動力のある魅力的な方なので、尚更そう感じたのかもしれませんが。

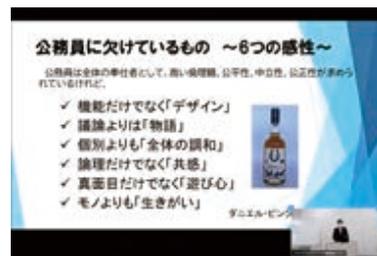
日時 令和5年1月17日(火)  
場所 新都心ビジネス交流プラザ、オンライン  
担当 会員組織委員会

「運の良い人が持っている力は、行動力・視野を広げる力・何でも面白がる力・楽しむ力・感謝する力」とのこと。

確かにそれを意識していけば、運のよい人になれるそうですね。健康も大事。健康寿命を意識しつつ、ビタミンDを積極的に摂取することも一つの方法のようです。

さて、気持ち新たに令和5年がスタートしました。今回のお話にも出てきましたように、流れ星が流れた時に、パッと願い事が出来るよう、日頃から高い目標と希望を持っていなければ!

行政書士諸井佳子事務所 諸井佳子



# 埼玉県知事表敬訪問

「秋らしい色ですね」

大野知事のその一言は、私たちの心を、一瞬にして緊張から解きほぐしてくれました。



令和4年10月17日、サイタマ・レディース経営者クラブ会長以下10名は埼玉県知事を表敬訪問し、会員からのアンケート調査結果である「埼玉県知事への提言2022」をお渡しするとともに、盛花を差し上げる機会に恵まれました。冒頭の知事言葉は、盛花を差し上げた際のものです。

まず、栗田会長から、今年度は新型コロナ感染拡大防止対策に伴う行動制限がなく、経済との両立が推し進められる中であって、円安・賃上げ・DX・SDGs・人材確保の5項目について、どのように取り組んでいるのかアンケート調査を実施した結果を説明いたしました。

日時 令和4年10月17日(月)  
場所 埼玉県庁本庁舎

次に参加者からの質問及び要望に対し、知事から埼玉県の取組状況が丁寧に説明されました。また、参加者の一人から、ある金融決済の方法について要望したところ、知事は「その問題は大変難しい」と回答されましたが、翌日、その質問者あてに埼玉県の担当者から連絡が入るなど、知事の誠実なお人柄と埼玉県の迅速な対応に感銘致しました。

今後も女性経営者に焦点をあて、皆さんの声を知事にお届けする取り組みがサイタマ・レディース経営者



クラブの存在意義の一つと感じた表敬訪問でした。

埼玉西濃運輸株式会社 澤登真珠枝

## 齋藤健 新法務大臣表敬訪問

埼玉レディース・経営者クラブの役員 11 名で、齋藤法務大臣を訪問させていただきました。

齋藤法務大臣は、埼玉県副知事（経済産業省より出向）されていた時代があり、県政に精通されており、栗田会長から、女性経営者の率直な声をお伝えしました。大臣からは、法務大臣としてのご苦労や、具体的なご意見をお伺いでき、実りある訪問となりました。

川合運輸株式会社 川合恵子

日時 令和 4 年 12 月 27 日（火） 10:45～

場所 法務省

10:45 法務省史料展示室見学

11:15 齋藤健法務大臣との面会

11:30 キャビックショップ立寄り（※受刑者の方々が刑務作業で制作された製品を販売している店舗）

11:50 法務省内 談話室にて昼食



## 新入会員紹介



### 天沼 和子

株式会社千草美容室  
代表取締役

**事業紹介** 川越で美容室を 6 店舗経営（今年で 77 周年）し、昨年、洋食のレストランを開業しました。

**会での抱負** 仲間と一緒に、自分や業界の成長に貢献できるよう、さまざまな勉強をさせていただきたく入会いたしました。よろしくお願いいたします。



### 新井 保枝

サクラモヒラ  
Sakura Mohila  
代表

**事業紹介** バングラデシュの手紡ぎ・手織りの綿を現地で製品にして、日本で販売している。

**会での抱負** 消えて行く手仕事に光をあて、手仕事の職人たちが誇りを持って、生活することをめざします。国境に関係なく、美しい製品を作ります。



### 宇野 三花

関東自動車株式会社  
代表取締役

**事業紹介** 特別支援学校や私立学校のスクールバス、企業従業員送迎などのバス運行を行っています。

**会での抱負** 女性経営者ならではの貴重なお話が伺える交流やセミナーを通して自身を成長させるとともに、クラブの繁栄に寄与していきたいと思ひます。



### 沖津 利可

りか社労士事務所  
代表

**事業紹介** 社会保険労務士（各種手続や給与計算の代行、就業規則作成、労働問題相談など）

**会での抱負** 会員の皆様との交流やセミナーでの学びを通じて、私自身の成長を促し、さらにそれをお客様に還元していくことを目指します。



## 大島 寛子

れんたるきものや 寛 kan  
代表

**事業紹介** 街歩きから婚礼などのフォーマル着物のレンタル、着付けを致します。出張も承ります。

**会での抱負** 異業種交流をしたり、講座などにも参加して多くの先輩方から色々学ばせていただきたいです。お役に立てる事があれば気軽にお声がけください。



## 久保田 薫

株式会社レイジット企画  
代表取締役

**事業紹介** テレビ CM の制作・商業デザイン・広告代理業務・大型ビジョン（ドンキホーテ店舗）運営

**会での抱負** まだ会の趣旨を良く把握できておりませんが女性経営者のパワーを感じています。皆様お互いの経験を生かし語り合い協力的にコラボできたらと思っています。



## 白石 のり子

クラウドテン  
代表

**事業紹介** 経営課題を解決するマーケティング戦略サポート及び個もチームも磨く人材育成研修の提供

**会での抱負** 様々なことにチャレンジしたいです！会の皆様やセミナーなどから学ばせて頂き、自分を磨いていきたいと思っています。



## 鈴木 七未

株式会社三郷クリーンセンター  
営業

**事業紹介** 三郷市を拠点に東京都・埼玉県・千葉県のご紙回収、産業廃棄物収集運搬を行っております。

**会での抱負** 事業継承中の身の私は、サイタマレディースの皆様から学ぶことは沢山あります。自身が成長出来た際には、会へ貢献していきたいと思っています。



## 柘原 綾子

株式会社ホートー  
専務取締役

**事業紹介** 建設汚泥リサイクル、改良土販売

**会での抱負** 従業員の教育や人事制度について、満足度を上げる勉強をしたいと思っています。



## 福井 千波

株式会社コマドデザイン  
代表取締役

**事業紹介** グラフィック・WEB デザイン、映像撮影・編集、イベント企画運営など

**会での抱負** たくさんの諸先輩方から学ばせていただき、地域に必要なとされる企業になるべく精進して行きます。どうぞよろしくお願い致します。



## 宮前 康子

ヤスコ スタイル ピラティス  
YASUKO STYLE PILATES  
代表

**事業紹介** 福利厚生を活用し企業の従業員様ご家族の皆様に向け健康講座を開催しております。

**会での抱負** 経営者としてだけでなく、女性としても成長できるように委員会、セミナーに積極的に参加し学びを深めていきたいと思っています。



SAITAMA LADIES  
Management Club

# 今年度の出来事

2022.4～2023.3

2022

- 4月
  - 改正民法施行、成人年齢 18 歳に
  - ロッテ・佐々木朗希が完全試合
  - 知床半島沖で観光船が沈没
- 5月
  - 沖縄本土復帰 50 年
  - バイデン米大統領が来日
- 6月
  - 原発事故、国の責任否定 最高裁初の判断
  - 電力逼迫で初の注意報 経産省、27 日に東電管内
- 7月
  - 英首相が辞意表明
  - 安倍元首相撃たれ死亡
- 8月
  - 大谷 2 桁勝利 2 桁本塁打
  - 夏の甲子園で仙台育英優勝、東北勢初
- 9月
  - エリザベス英女王死去
  - 安倍氏国葬、4200 人参列
- 10月
  - ヤクルト村上が 56 号本塁打、三冠王
  - 韓国で雑踏事故、158 人死亡
- 11月
  - 米中間選挙、共和が下院奪還
- 12月
  - W杯日本代表 16 強
  - W杯アルゼンチンが 3 度目 V

2023

- 1月
  - フランスで 100 万人超が定年引き上げにデモ抗議
- 2月
  - バイデン大統領 ウクライナ訪問
- 3月
  - 岸田総理大臣のウクライナ訪問
  - WBC 侍ジャパン、世界一

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、令和 5 年 5 月 8 日に、2 類相当から 5 類感染症になりました。今後は、感染対策として、政府から一律に対応を求めることがなくなり、個人・事業者の判断が基本となるようです。2020 年に日本国内でも感染者が確認され、私たちの暮らし、経済にとっても大きな影響を与えてきました。ウイルス自体はなくなってはいますが、この 5 類への変更は、一つの大きな節目となるのでしょうか。

個人的な話ですが、このコロナ禍のなか、最近二子目の出産を経験しました（予定日直前にコロナにかかり、少し焦りましたが、無事に出産できました。医療関係者に感謝です）。当たり前の日常が、こんなにも大切なのかと実感しています。こんな世相だからこそ、これからの社会のありかた、どうしたら子ども達が世の中に希望を見出せるのか、親として子どもに何を伝えていけるのか、会社として何ができるのか等、真剣に考えていきたいと思います。（相木）

■ 広報委員会（令和 3 年度）…土橋（担当副会長）、相木、川合、田島、小川、河野、荒井、石川、伊藤、久賀、山口（敬称略）

【埼玉県連携窓口】 埼玉県産業労働部産業支援課 担当 田原

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1 TEL 048-830-3903 FAX 048-830-4813

発行者 サイタマ・レディース経営者クラブ

会長 栗田美和子 ● 連絡担当課 埼玉県産業労働部産業支援課 電話 048-830-3903 ● 印刷 関東図書株式会社 電話 048-862-2901